



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月14日

上場会社名 株式会社トミタ 上場取引所 東
 コード番号 8147 URL <http://www.tomitaj.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 富田 稔
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 中村 龍二 TEL 03-3765-1219
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	14,407	17.5	334	119.1	568	75.9	432	106.0
2021年3月期第3四半期	12,265	△33.2	152	△82.4	322	△66.2	209	△68.1

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 706百万円 (5.2%) 2021年3月期第3四半期 671百万円 (△13.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	83.38	—
2021年3月期第3四半期	40.47	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	15,893	10,288	63.3	1,940.11
2021年3月期	15,846	9,642	59.3	1,813.52

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 10,060百万円 2021年3月期 9,403百万円

(注) 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	11.00	11.00
2022年3月期	—	0.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,900	9.1	590	148.2	720	49.2	460	45.1	88.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	6,158,000株	2021年3月期	6,158,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	972,717株	2021年3月期	972,686株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	5,185,288株	2021年3月期3Q	5,185,314株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の2ページをご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の進展により、経済活動の正常化が進んだことで景気は回復基調にあるものの、新たな変異ウイルスによる感染再拡大の懸念及び世界的な半導体不足など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

わが国の工作機械業界は、当第3四半期連結累計期間は、国内は需要が前年同期比80.6%増加、海外では需要が前年同期比84.2%増加し、その結果国内外全体の受注額は83.0%増加し12,193億円となりました。

こうした環境下、工作機械を主力取扱商品とする当社グループの受注・売上につきましては、国内で増加となりました。一方で、海外ではアジアで減少したものの、北米及び欧州で増加した結果、海外全体では増加となり国内・海外共に前年同期比で増加となりました。

上記の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は144億7百万円（前年同期比17.5%増）、営業利益は3億3千4百万円（同119.1%増）、経常利益は5億6千8百万円（同75.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億3千2百万円（同106.0%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

日本

工作機械の受注・売上が増加し、当第3四半期連結累計期間の売上高は92億3千1百万円（前年同期比22.9%増）となり、営業利益は1億9千6百万円（同259.1%増）となりました。

北米

自動車メーカー関係向けの受注・売上が増加し、当第3四半期連結累計期間の売上高は24億5千1百万円（前年同期比35.2%増）となり、営業利益は7千4百万円（同233.3%増）となりました。

欧州

自動車メーカー向けの受注・売上が増加し、当第3四半期連結累計期間の売上高は1億8千3百万円（前年同期比20.4%増）となり、営業利益は0百万円（前年同期は1千2百万円の営業損失）となりました。

アジア

中国では回復基調にあるものの、東南アジアを中心とした新型コロナウイルスの感染拡大により、自動車・2輪車メーカー関係向けの受注・売上が減少し、当第3四半期連結累計期間の売上高は25億4千2百万円（前年同期比8.8%減）となり、営業利益は7千5百万円（同12.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、電子記録債権が3億2千8百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ4千7百万円増加し、158億9千3百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金が9億6千6百万円減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ5億9千7百万円減少し、56億5百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が3億7千2百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ6億4千5百万円増加し、102億8千8百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の通期の連結業績予想につきましては、現時点では、2021年5月14日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,311,280	5,414,134
受取手形及び売掛金	3,910,501	3,050,619
電子記録債権	904,406	1,232,893
商品	582,284	738,880
その他	510,283	589,245
流動資産合計	11,218,757	11,025,774
固定資産		
有形固定資産	1,036,796	1,046,808
無形固定資産	76,416	65,495
投資その他の資産		
投資有価証券	2,389,263	2,623,527
投資土地	787,862	787,862
その他	351,176	358,390
貸倒引当金	△14,146	△14,146
投資その他の資産合計	3,514,155	3,755,634
固定資産合計	4,627,367	4,867,937
資産合計	15,846,124	15,893,712
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,768,687	1,802,601
電子記録債務	1,230,455	1,540,330
短期借入金	297,266	242,507
未払法人税等	13,173	83,882
賞与引当金	57,000	23,100
役員賞与引当金	32,000	27,000
その他	405,366	442,863
流動負債合計	4,803,948	4,162,285
固定負債		
長期借入金	19,959	5,283
役員退職慰労引当金	317,764	295,739
退職給付に係る負債	22,367	24,256
その他	1,039,206	1,117,749
固定負債合計	1,399,298	1,443,028
負債合計	6,203,247	5,605,314

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	397,500	397,500
資本剰余金	280,300	280,300
利益剰余金	7,537,776	7,910,420
自己株式	△453,373	△453,404
株主資本合計	7,762,203	8,134,815
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,296,763	1,452,109
土地再評価差額金	529,500	529,500
為替換算調整勘定	△184,796	△56,415
その他の包括利益累計額合計	1,641,467	1,925,194
非支配株主持分	239,206	228,388
純資産合計	9,642,877	10,288,398
負債純資産合計	15,846,124	15,893,712

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	12,265,106	14,407,965
売上原価	10,310,884	12,095,654
売上総利益	1,954,222	2,312,310
販売費及び一般管理費	1,801,513	1,977,735
営業利益	152,708	334,574
営業外収益		
受取利息及び配当金	31,600	31,531
仕入割引	9,817	10,230
受取賃貸料	62,708	68,830
為替差益	16,900	55,034
保険解約返戻金	—	29,933
助成金収入	61,540	61,606
その他	18,686	4,890
営業外収益合計	201,253	262,056
営業外費用		
支払利息	4,082	2,557
不動産賃貸費用	22,289	23,828
売上割引	2,260	1,382
その他	2,361	800
営業外費用合計	30,993	28,569
経常利益	322,969	568,061
特別利益		
固定資産売却益	2,504	1,160
特別利益合計	2,504	1,160
特別損失		
固定資産除却損	151	78
特別損失合計	151	78
税金等調整前四半期純利益	325,322	569,143
法人税、住民税及び事業税	50,360	127,575
法人税等調整額	46,668	9,204
法人税等合計	97,028	136,780
四半期純利益	228,294	432,362
非支配株主に帰属する四半期純利益	18,429	29
親会社株主に帰属する四半期純利益	209,864	432,333

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	228,294	432,362
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	592,790	155,346
為替換算調整勘定	△149,912	118,628
その他の包括利益合計	442,877	273,974
四半期包括利益	671,172	706,337
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	673,167	716,060
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,995	△9,722

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、従来は出荷基準を適用していた商品の国内販売において、出荷時から当該商品の支配が顧客に移転される時までの期間が「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2021年3月26日)第98項に定める通常の期間を超過する場合には、検収時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は43,825千円増加し、売上原価は40,005千円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ3,820千円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は2,650千円減少しております。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、当該会計基準等の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	北米	欧州	アジア			
売上高							
外部顧客への売上高	7,513,035	1,812,813	152,051	2,787,205	12,265,106	—	12,265,106
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,604,703	3,989	67,625	19,108	1,695,426	△1,695,426	—
計	9,117,738	1,816,803	219,677	2,806,313	13,960,532	△1,695,426	12,265,106
セグメント利益又は 損失(△)	54,619	22,490	△12,131	86,827	151,806	902	152,708

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額902千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	北米	欧州	アジア			
売上高							
外部顧客への売上高	9,231,234	2,451,076	183,040	2,542,613	14,407,965	—	14,407,965
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,977,689	5,756	62,715	9,368	2,055,530	△2,055,530	—
計	11,208,924	2,456,833	245,755	2,551,982	16,463,496	△2,055,530	14,407,965
セグメント利益	196,140	74,951	5	75,615	346,713	△12,138	334,574

(注) 1. セグメント利益の調整額△12,138千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。